

名古屋キリスト教社会館

後援会だより

第 33 号

発行日；2022年4月5日

発行人；岡村 恒義 編集人；谷川 修
〒457-0805 名古屋市南区三吉町 6-17

新しい年度を迎えて

蔓延防止等重点措置は解除されましたが、引き続きの警戒が求められる新年度スタートとなりました。

嘗てのようになんの心配もなく、マスクもつけずに顔を近づけて語り合い、食事を共にし、アルコールを飲める人は気兼ねなく盃を交わす、そんな日の到来を願うのは万人の切実な思いでしょう。そんな当たり前の願いすら忘れてしまうほどの長期間のウィルス禍。皆さん、素朴でシンプルな そんな思いを忘れないようにと願わずにおれません。

私、この後援会発足時より会長という大役を引き受けさせて頂いております。数年前に社会館本部のある南区から北区に転居したこともあって、そろそろ、こ

の役目を下ろして欲しいと言ってきました。どうやら後任を引き受けてもよいという方が出られるようで、肩の荷が軽くなった気分になっています。

会長としては、力不足でなんの役割も果たせない未熟者、幹事などの役員や事務局に迷惑をかけっぱなしだったとの思いの一方で、3回にわたる募金活動で目標額を達成できたことで安堵しております。これもひとえに ご協力賜った皆さんのお陰です。感謝に堪えません。

社会館では、次なる目標に向かって歩み続けています。社会館の応援団たる後援会を引き続きご指導下さいますよう宜しくお願い申し上げます。そして、会員の皆様にとっての楽しい後援会にしていきたいと思います。

会長 岡村 恒義



コロナ苦学生支援の報告とお知らせ

本年1月号のコロナ苦学生支援呼びかけに対して、4万円の献金が寄せられました。(12/16~3/18) 実際に支援されている市民アクション愛知8区の上山様にお届けし、3月20日に支援物資の配給に充てて頂きました。ご協力ありがとうございました。

今回、義援金をお寄せいただきました方は、岡田雅子、伊神和子、中島 忍、小林冴子、山田春枝、湧井規子、渋谷文平、谷川 修、NPO法人イエローエンジェル(敬称略、順不同)

全4回、総額34万8千円の支援金をお渡しました。支援者らはコロナ感染が続くことから、継続支援されるのですが、後援会としては一旦打ち切りとします。(O.T)

2022年4月1日現在

会 員 数 787名

当面の目標である1000名を早期に達成できるよう、お知り合い等への呼びかけを今後も宜しくお願い致します。(事務局)

2022年度 基本方針(案)

With コロナを意識して事業展開せざるを得ないとの覚悟をもちつつ、総会とともに、お楽しみ企画、学びの企画等について、感染予防を意識して実施する。また、支援センター部の施設整備等にかかる資金づくりのための「募金活動」の準備も始める。上記の募金活動の準備、展開と、今後も社会館が取り組むであろう「MCHI フェス」にリンクしつつ、会員数拡大をはかる。

2022年度当初予算(案)

収 入	1,230,000 円
内訳；会費	750,000 円 (1,000 円×750 人)
その他収入	30,000 円
	(事業収入、寄附金、雑収入など)
繰越金	450,000 円
支 出	1,230,000 円
内訳；総会経費	50,000 円
印刷経費	30,000 円
事務費	20,000 円
通信費	24,000 円
支部費	30,000 円
人件費	120,000 円
振込料	15,000 円
募金委員会経費	250,000 円
次期繰越金(予備費)	691,000 円